

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市向陽台児童館	
2 指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団	
3 指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・ 令和3年度 23,763人（前年度比 121.7%） ・ 令和2年度 19,520人 ・ 令和元年度 31,974人	
	《事業》 ・ 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 43,558千円（37,346千円） ・ その他市が負担した費用 0千円（0千円）	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円（0千円） ・ その他収入 0千円（0千円）	
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。	

()は前年度決算額

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。今年度においては地域との交流事業が多く休止されたが、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>「遊ぶ・つながる・笑顔あふれる児童館」を運営目標に、感染予防に注意を払い、子ども達の居場所づくりに努めました。</p> <p>（児童健全育成事業）「あそびのポケット」は、事前申込制の土曜日行事で、各回多くの参加者がありました。運動遊び、めざせコマ名人、数珠玉アクセサリー作り、マンカラ大会等地域の人材を活用し、高度な遊びへ挑戦するなど、様々な体験を通して地域との交流を図りました。</p> <p>（子育て家庭支援事業）「ひよこちゃん」は、乳幼児親子の児童館デビューを促進するために赤ちゃんと母親向け行事を開催し、校区外や他市町からの参加もあり、保護者間の交流も広がりました。「すまいるタイム」は、職員が手遊びや絵本の読み聞かせを行い、気軽に参加でき、その後も継続して利用し、親子で安心して過ごせる居場所となりました。読み聞かせボランティアのおはなし会を定例開催し、地域の人材活用のもととなりました。</p> <p>（地域交流推進事業）洞雲寺探検・ホテル観察会は、親子行事で、地域への関心が高まり、ホテルの生態を知り自然への興味も深まりました。「正月事始め」では、餅つきパフォーマンスの見学、正月飾り作りを体験しました。子育て支援クラブや親父の会のサポートにより、様々な年代が集い、伝統文化を継承する場となりました。</p> <p>（放課後児童健全育成事業）遊びを通して、異学年交流を促進すると共に、児童の活動を通じて保護者同士の交流にも繋げました。「チャレンジ」は、運動遊びや様々な遊びを知るとともに、友達との関係が深まりました。地域のデイサービス交流では、寄せ書きを贈り、世代間交流を図りました。</p> <p>今後も各事業を通して、子どもと地域のつながりを絶やさぬよう、地域とともに子どもの自立する力を育むための取組を進めてまいります。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に係るまん延防止重点措置や宮城県・仙台市緊急事態宣言、宮城県緊急特別措置などの発令があったが、児童クラブに関しては、年間を通して受け入れを行った。この間、小学生や乳幼児親子の自由来館などは一部休止していたが、解除後も小学生の自由来館は土曜日のみ、乳幼児親子は平日午前のみと制限のある再開となった。年間を通して、感染症対策のための参加人数の制限や環境の工夫を行うなど様々な配慮と努力をしながらの児童館運営だった。</p> <p>児童健全育成事業においては、小学生対象の「あそびのポケット」がマンカラ大会など子ども達の遊びへの意欲を引き出す内容で人気の企画となっている。また、高学年の自由来館の増加をねらいとして行われた「やってみよう！ヘアアレンジメント」は、地域の美容師さんを招いて行われ好評を得た。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、乳幼児親子の児童館デビューの促進をねらい企画した「ひよこちゃん」は制作やベビーマッサージ、講師による「おんぶで子育て」など、多彩なプログラムを提供し来館者のリピーターにつながっている。また、「すまいるタイム」は職員が担当し、手遊びや絵本の読み聞かせなど和やかな雰囲気で行われ参加者の交流の場となっている。特に夏の「すまいるサマーテラス」は水遊びできる場所を提供し参加者から好評を得ている。</p> <p>地域交流推進事業においては、恒例行事の「洞雲寺探検」「ホテル観察会」が地域の方や親父の会の協力で行われ、親子で地域の文化と自然に触れ合う機会となった。また、「お正月事始め」では餅つきやお正月飾り作りを体験するなど地域と連携した協力体制のもと充実した事業を展開し、子どもが地域や関係機関と関わりながら育つ環境作りに努めており評価できる。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、特に長期休みを利用して異学年の交流活動を活発に行っている。また「チャレンジ」は、毎月1週間の遊びのテーマを子ども達が決定している。遊びを通して子どもが相互に関わり主体的に生活できるように支援が行われている。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課